

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2009-82570(P2009-82570A)

【公開日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-016

【出願番号】特願2007-257982(P2007-257982)

【国際特許分類】

A 6 1 F 7/08 (2006.01)

A 6 1 F 9/04 (2006.01)

A 6 1 F 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 7/08 3 6 1 A

A 6 1 F 7/08 3 3 4 S

A 6 1 F 9/04 3 0 0

A 6 1 F 7/00 3 2 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月28日(2010.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着用時に両目を覆うに足る形状及び大きさを有する横長のアイマスク形の本体部を備えた目用温熱具であって、

該本体部が、肌側シートと外側シートとそれらの間に配置された発熱体とを有し、

該肌側シートと該外側シートとは、それらの周縁部で接合されており、

該肌側シートの伸縮率が該外側シートの伸縮率より大である目用温熱具。

【請求項2】

前記発熱体がシート状発熱体であり、

該シート状発熱体に、該シート状発熱体の変形を容易にする加工が施されている請求項1記載の目用温熱具。

【請求項3】

前記変形を容易にする加工が、一方向へ延びる切れ込みを多条に形成するものである請求項2記載の目用温熱具。

【請求項4】

少なくとも前記肌側シートが、伸長状態で接合されている請求項1ないし3のいずれかに記載の目用温熱具。

【請求項5】

着用前の状態において、前記本体部における少なくとも周縁部が、着用者の肌側へ向けて反り上がり、前記本体部が外側に向けて凸状に湾曲している請求項1ないし4のいずれかに記載の目用温熱具。